

# 「地域活性化リレーシンポジウム in 金沢」

モノづくり推進会議と日刊工業新聞社は10月22日、金沢市の金沢21世紀美術館で「地域活性化リレーシンポジウム in 金沢」を開催した。テーマは「伝統から革新へ」。石川発モノづくり・価値づくり。北陸電力の田辺大太郎副社長が「地域活性化リレーシンポジウム in 金沢」の司会を務めた。田辺氏は「地域活性化リレーシンポジウム in 金沢」の司会を務めた。田辺氏は「地域活性化リレーシンポジウム in 金沢」の司会を務めた。

**特別講演**  
北陸電力 田辺大太郎副社長  
ネルギソリューション チーム統括  
パネリスト  
○一村産業 石井銀二社長  
○角出合織 角出伸一社長  
○箱一 浅野邦子会長  
コーディネーター  
○石川県デザインセンター 志南雅人事務局長



**講演 「空気と電気が生み出す省エネルギー」**  
照明にはナトリウム灯に比べて、LEDの消費電力が約40%削減できる。照明の効率を上げることで、省エネ効果が期待できる。照明の効率を上げることで、省エネ効果が期待できる。

## 伝統から革新へ

### 石川発モノづくり・価値づくり

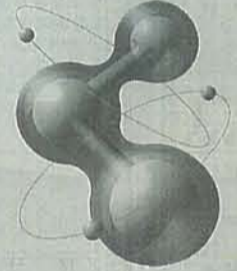
コマツ 坂根正弘氏



2001年の社長就任時、社内には「モノづくり」がキーワードとなっていた。モノづくりの重要性を再認識し、伝統技術を活かしながら、革新的な製品を開発していくことが、地域活性化の鍵となる。

## 全グループに「コマツウェイ教育」

工場は「モノづくり」の現場であり、同時に「人づくり」の現場でもある。コマツグループでは、全従業員を対象とした「コマツウェイ教育」を実施している。これは、伝統技術の継承と、革新的な技術の開発を促すための取り組みである。



モノづくり推進会議

**特別講演 「コマツの経営構造改革」**  
強みを磨き、弱みを改革

2001年の社長就任時、社内には「モノづくり」がキーワードとなっていた。モノづくりの重要性を再認識し、革新的な製品を開発していくことが、地域活性化の鍵となる。

工場は「モノづくり」の現場であり、同時に「人づくり」の現場でもある。コマツグループでは、全従業員を対象とした「コマツウェイ教育」を実施している。

## パネルディスカッション

**パネリスト**  
一村産業 石井銀二社長  
角出合織 角出伸一社長  
箱一 浅野邦子会長  
コーディネーター  
石川県デザインセンター 志南雅人事務局長



地元の経営者がパネル討論会に登壇

**石川の活用すべき強み**  
豊富な地域資源  
モノづくり集積

「人材育成」「販路開拓」が重要な課題である。石川県は、伝統技術と革新的技術の両方を活かすことで、地域活性化を実現できる。人材育成と販路開拓は、そのための重要な課題である。



志南氏



浅野氏



角出氏



石井氏

## 環境対応型の素材に重点 素材への感動 キーワード 「伝統」と「革新」つなぐ

環境対応型の素材に重点を置き、素材への感動をキーワードとして、「伝統」と「革新」をつなぐ。これは、地域活性化を実現するための重要な課題である。

## 未来の市場予測・次の主力商品を考える

未来の市場予測と、次の主力商品について考える。環境対応型の素材や、革新的な技術が、今後の市場をリードしていくことが期待される。

石井氏、角出氏、浅野氏、志南氏、一村氏が、未来の市場予測について意見を述べた。環境対応型の素材や、革新的な技術が、今後の市場をリードしていくことが期待される。